



第3回 クイズ作問甲子園

審査委員総評

実施時期：2023年6月～8月

運営：AQL/全日本クイズリーグ
第3回夏のセンバツAQL実行委員会



第3回クイズ作問甲子園・結果

優勝 渋谷教育学園渋谷中学校・高等学校（初優勝）

準優勝 開智中学・高等学校

第3位 東大寺学園中学校・高等学校

【新設校部門・入賞】＊愛好会・学校非公認団体の上位3校

開智中学・高等学校（準優勝）

兵庫県立長田高等学校（2次審査第8位）

AKQC（1次審査Cコース第7位・2次審査進出次点）

第3回 クイズ作問甲子園概要

- 夏のセンバツAQL「問題作成部門」として開催、中学・高校40校が参加。
- 「AQLで、初心者も含む中高生に出題する42問」を想定し、中高生自身がクイズ問題を作成し、選定・裏取りを実施して提出。
- 『第4回夏のセンバツAQL』は、ここで応募された中高生の問題をメインに開催中。

【審査基準】

「AQL公式ルールで早押しクイズ真剣勝負を競うのに、ふさわしい問題群」であるか？

「クイズ初心者を含む中高生に出題する」という前提の難易度になっているか？

「新しい切り口」を意識しているか？

+各審査委員が、事前発表した基準



第3回クイズ作問甲子園・審査方式

参加校は提出時に、どの審査委員グループに一次審査してもらうか選択。(先着順)

一次審査

【Aグループ】
徳久倫康
中林もも
飯星洸一郎

【Bグループ】
近藤仁美
鶴崎修功
贄祐太

【Cグループ】
能勢一幸
三木智隆
中山拓海

上位
6校

上位
6校

上位
6校

二次審査

【二次審査委員】

片岡桂太郎 近藤仁美 高橋太郎 鶴崎修功 徳久倫康
中林もも 能勢一幸 野田修平 三木智隆 森慎太郎



結果詳細



第3回クイズ作問甲子園参加校

長田	前橋	東大寺学園	沼津東
開智中高	筑波大駒場	岐阜	AKQC
QLON	松江高専	清教学園	横浜翠嵐
渋谷教育学園渋谷	N高・S高	灘中	県立千葉
県立旭丘	栄光学園	早稲田	渋谷教育学園幕張
札幌南	高田	智辯和歌山	県立浦和
北野	青森	江南	灘高
海城	横浜サイエンスフロンティア	仙台第一	岡山朝日
西大和学園	市立川崎	仙台二華	
大阪聖光学院	駒場東邦	瑞陵	

Aコース結果

順位	学校名	計	徳久	中林	飯星
1	渋谷教育学園渋谷	9	4		5
2	県立浦和	8	5		3
3	早稲田	7	3		4
4	西大和学園	6	2		4
5	筑波大駒場	6	3		3
6	瑞陵	3	2		1
7	灘中	3	1		2

Bコース結果

順位	学校名	計	鶴崎	近藤	贄
1	東大寺学園	12	3	4	5
2	栄光学園	11	5	5	1
3	札幌南	8	2	3	3
4	渋谷教育学園幕張	7	4	0	3
5	灘高	6	1	1	4
6	北野	6	3	2	1
7	県立千葉	5	1	3	1

Cコース結果

順位	学校名	計	能勢	三木	中山
1	開智中高	15	5	5	5
2	岐阜	10	3	3	4
3	長田	9	2	4	3
4	大阪聖光学院	8	4	2	2
5	海城	6	1	2	3
6	横浜翠嵐	5	1	3	1
7	AKQC	5	3	1	1

順位	学校名	計	片岡	近藤	高橋	徳久	鶴崎	能勢	野田	三木	森
1	渋谷教育学園渋谷	37	0	5	5	3	5	5	5	5	4
2	開智中高	28	0	0	4	5	4	3	3	4	5
3	東大寺学園	19	5	2	2	1	1	3	4	0	1
4	栄光学園	18	3	4	0	1	3	4	0	0	3
5	灘高	13	4	0	3	2	0	0	2	0	2
6	渋谷教育学園幕張	13	2	0	0	3	2	0	1	2	3
7	筑波大駒場	11	1	3	1	2	0	2	1	0	1
8	札幌南	8	3	0	1	0	0	1	3	0	0
9	西大和学園	8	2	3	0	1	0	0	1	1	0
10	長田	8	1	0	1	0	2	1	0	3	0

11位 県立浦和 7P 12位 早稲田 7P 13位 岐阜 7P 14位 北野 4P
15位 大阪聖光学院 4P 16位 横浜翠嵐 3P 17位 海城 2P 18位 瑞陵 1P

1位 渋谷教育学園渋谷（東京）

37点

【作成団体コメント】

「問題の先読みをする」という早押しクイズの楽しさを存分に味わえるような問題群を目指しました。雑学として面白くてかつ、競技としても差がつく前フリの問題を多く作問しました。（スポーツの問題が少ないですが、「アディダス」で補えていると思います。）

1位	渋谷教育学園渋谷（東京）	37点
片岡桂太郎		0
近藤仁美	面白い前振りが印象的で、楽しく勉強になる問題群でした。また、題材に詳しい人がより早くボタンを押せるよう、全体の構成が工夫されていました。別解や判定基準の取り方も丁寧で、様々な方向に目が配られていると思います。なお、作問甲子園においては、自らの技量を余すところなく見せる今回のやり方がベストだと思います。実際、私も最高点を入れさせていただきました。一方で、将来的にこのチームからプロの作問者を目指す方が出る場合、渾身の問題であることをあえて周囲に伝える問題と、プレイヤーがふっと力を抜けるような問題（実際には先述の問題と同様の精度・気力で作るものの、解く側に迫ってくる印象をやや抑えた問題）を用意すると、より緩急がついて締まった一揃いになると思います。いずれにしても、ハイレベルな今大会にあって、頭ひとつ抜き出た完成度のチームでした。	5
高橋太郎	コメントのとおり、「問題の先読みをする」ためにしっかり機能する前フリが美しかったです。一般的な単語でも深くユニークな知識を持つ人が先んじて押せる問題群であることに加え、日本語の体裁や別解の研究等も整っている点も素晴らしいです。	5
鶴崎修功	かなりおもしろいです。私が初めて見る情報も多く楽しく読みました。	3
徳久倫康	かなり良いです。抑制の効いた範囲でおもしろい情報が盛り込まれており、TPOをよく考慮した問題群だと思います。楽しく読みました！	5
能勢一幸	前振りにオリジナリティへのこだわりを感じさせつつ、難易度も絶妙なバランスです。最後には正解できる問題も、途中のフリで「へえ、そうなのか」という学びがあり、問題文の中に正解に導けるヒントが隠されているものもいくつもあって感服しました。	5
野田修平	文章がきれいに作られており、あまり指摘するところがなかった。各問題にも、面白い前振りや出題する意図が見え、非常にクオリティが高い。	5
三木智隆	問題に使用されている情報がとにかく面白い！ 解答の核心部分を見せすぎず、解答者に想像できる余地を与える塩梅が絶妙。15～18年の人生経験でこの問題群を練り上げることができるのは、ちょっと信じられないです。AQLで出題することを想定しても、バランスよく出せているし、表記の書き方、裏取り資料も抜群でした。極めて満点に近く、断トツの最高評価でした。	5
森慎太郎		4

2位

開智中高
(埼玉)

28点

【出題者コメント】「詳しい人ほど速く押せる」ことを前提として、「クイズに熟練した人も存分に活躍できる」こととの両立を目指しました。作ってみたら少しばかり難しくなりましたが、質は保証します。

片岡桂太郎

0

近藤仁美

情報を盛り込みすぎない、限定部分をガチガチに固めないという、今回の作問甲子園では珍しいセットでした。全体としてこなれた印象で、作問を担当された方の実力がうかがえます。指定された項目が無記述だったのは惜しかったですが、この問題が大会本番で使用されるのが楽しみです。

0

高橋太郎

何かコメントするのが野暮に思えるくらい完成度の高い42問でした。ありがとうございます。

4

鶴崎修功

1つ1つの情報は既出というか、よくあるネタが多いですが、その中でも幅広く選ばれていて気持ちよく読めます。

5

徳久倫康

ある事柄を問うにあたって、どのような情報を持ってきて、どう配置するとよいかについて、よく考えられた痕跡を感じます。なにを問うかの選択も配慮が効いており、完成度の高い問題群だと思います。

4

能勢一幸

1問目にふさわしい問題でスタートし、文字数が少なく小気味よく進みます。裏取り欄もすべて埋まっており、安心感もあります。問題文はミスリードのない構成となっており、難易度が低くてもありきたりな問題とは感じさせない配慮がなされていました。「少しばかり難しくなったが、質は保証」というコメントに納得できる問題群でした。

3

野田修平

大きく直すところもなく、ジャンルもばらけた質の高い42問だと感じた。難易度（記入してください）の高い問題もあるが、誰かが押せる水準だと思う。

3

三木智隆

意欲作が複数あり、全体としてのバランスも取れていました。解説がしっかり書かれているのも好印象です。

4

森慎太郎

いろいろな題材をいろいろな角度から問おうとしていながら、題材の難易度や問題としての格調を一定の範囲に収めることができている点の評価しました。適切な情報を拾ってきてクイズの形に仕立てることはできているので、より高みを目指すとするれば、ある情報について、世界の中での位置付けや出題における重要性を吟味し、それを問題文にいかに関映するか、について考えを深められるとよいかと思います。

5

3位 東大寺学園
(奈良)

19点

【出題者コメント】

42問、これで一つです。
審査員の方々、よろしくお願いします。

片岡桂太郎

5

近藤仁美

へー！ と思える素材が多く扱われており、解く人を楽しませようという気持ちがよく出ていました。文章もきれいなので、耳で聞いてわかりやすい言葉の選択を心掛けると、さらによくなると思います。

2

高橋太郎

よくまとまった、大きな瑕疵の無い綺麗な問題群でした。

2

鶴崎修功

前フリが丁寧に作られていてよいと思いました。

1

徳久倫康

「良い問題群を揃えよう」という意志が垣間見え、楽しく拝読しました。部分的に、問題文の美しさや表現したいことが優先され、答えやすさが損なわれてしまっている問題文があるように思われ、そこが改善されるとよりよい問題群になると思います。

1

能勢一幸

誰もが身近に感じるジャンルの問題で固めている印象で、難易度設定も適切でした。最後まで押しやすさが徹底されており、三択問題も配置した点は高く評価したいと思います。

3

野田修平

どの問題も簡潔にまとまっていて、そつがない42問だった。問題の目新しさという面では若干見劣りするが、AQLで使う問題としては十分だと思う。ルビや判定基準をもう少し充実させてほしくはある。

4

三木智隆

前振り情報が無機的な問題（後振りとのつながりが感じにくい問題）が、やや多い印象でした。答えを聞いたときに「へえ！」「そうだったのか！」と言える情報をもう少し混ぜて欲しかったです。日本語は、丁寧に構成されていました。

0

森慎太郎

1

順位	学校名	計	高評価した審査委員のコメント
4	栄光学園	18	興味深い前振りや問題配列の工夫が効いていました。面白さと奇をてらわないことが両立していて、楽しくバランスのよいクイズだと思います。出典の挙げ方も適切で、全体としてしっかり練られた問題群でした。(近藤・4点)
5	灘高	13	素直な問題でよくまとまっており、AQLルールで使用するのに適した問題群だと感じます。(高橋・3点)
6	渋谷教育学園幕張	13	問題文が洗練されており、よくまとまっていると思います。やや最近のトピックに偏り気味なので、もう少し「ちょっと古い」事柄を出してもよいかと思いますが、好みの範疇ですね。(徳久・3点)
7	筑波大駒場	11	すっきりしてテンポ良く、とても聞きやすい問題群です。生活に密着した二択問題があるのを高く評価しました。(能勢・2点)
8	札幌南	8	要点を端的に短くまとめる技術に長けている。反面、早押し問題としては「もう一言、1ヒント欲しい」と感じるころもあった。別解についてはもう少しフォローが欲しい。(野田・3点)
9	西大和学園	8	全体的にそつがなく、水準が高いと感じた。前振りにも新しい視点があり、バランスも良い。別解や判定基準をもう少し充実させてほしい(野田・1点)
10	長田	8	コメント欄に「新興クイズ研」と書かれていましたが、ベテランの問題作成者と思わせるような、鮮やかな問題が多かったです。前振りに入れてくるネタが新鮮、簡潔で見事でした。(三木・3点)

残る審査委員のコメントは、希望する各校に送付済みです。